

Governor's

国際ロータリー
第2660地区

ガバナー月信

行動に信念を
信念は行動に



BELIEVE IN WHAT
YOU DO
DO WHAT
YOU BELIEVE IN
1993～94年度RIのテーマ

Monthly Letter

〈1994年6月〉

ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

12

クラブ会長並に幹事 殿 TO: CLUB PRESIDENT AND SECRETARY

6月のロータリー

ガバナー 大森 慈祥

いよいよ私たちの最終の月がやって来ました。会長さん。幹事さん。一年間のご奉仕まことにご苦労さまでした。お互いにやっと役目に慣れたと思ったところに終わりです。しかし、元気でダウンすることなく一年間を務め終えたことが何よりもうれしく思います。

私が行き届かないために随分と皆様にご迷惑をおかけいたしました。今、いろいろと反省しているところです。

ロータリーは特別の部門を除いて一年任期が原則。一年で交代です。この制度をしっかりと守ればクラブのために大いに役立つとされています。同じ人が長年同じ役を務めるといことにはメリットもありましょうが、ボス化する事のデメリットも重視しなければということでしょう。

私たちもいよいよ交代です。公式訪問の時にもお願いしたことでありますが、次年度へのバトンタッチの準備ができましたでしょうか。次にどのように引き継いでいくかをしっかりと見定めねばなりません。

まず今年一年間を振り返ることから始めましょう。いろいろなことがありました。

会長さま皆様と一堂に会したのはPETSの時が初めてのことでした。幹事さんや四大部分の委員長さん方を交えての会合は地区協議会でした。公式訪問では会長さんと幹事さん

とごいっしょにいろいろなお話をいたしました。例会では会長さんが大変緊張していられた様子がとてもおかしく懐かしく思い出されます。

地区のいろいろな会合や行事、クラブの活動、毎週の例会、会議、親睦会・・・そして各組I.G.F.の開催、それから地区大会とそれぞれ懸命に参加し、取り組んでまいりました。そして私たちはその中で、一生かかっても得ることのできないような貴重な体験をいたしました。たくさんの人達にも出会い、新しい友人もできました。本当に有難いことだったと思うのです。

気付いたこともあります。こうあるべきでは、このようにしなければならぬのでは、などということもあったのではありませんか。そんなことを次期の皆さんにお伝えするようにしたいものです。

次年度への引き継ぎのための仕事はいろいろありますが、年次報告書の作成、クラブの財産と記録の整理などはきっちりやっておきましょう。あと一か月、全力を尽くして思い残すことのないように、そして次にバトンタッチする、これが非常に大切なことであり、ロータリーのすばらしい姿といえます。

やりのこしたことがないか、もう一度振り返ってみましょう。